

食品を取り巻く世界各国の法規制は刻々と変化しています。本講座では、海外展開に必要な最新海外情報の収集方法や食品添加物・食物アレルギーに関する各国の法規制の解説に加え、新型コロナウイルスによる影響についても取り上げます。

海外の食品添加物および食物アレルギーの法規制

～最新情報・収集方法、添加物/アレルギー表示の国別比較、輸出入とトラブル事例～

講師：シッフズジャパン 代表 鈴木 幸雄 氏

【紹介】1973年名古屋市立大学薬学部薬学専攻修士課程修了、1977年京都大学医学研究科・医学博士号取得。1977年より11年間、大学で医学の基礎研究に携わった後、1988年より12年間、製薬会社にて新薬開発、薬事申請業務を担う。2000年に三栄源エフ・エフ・アイ(株) 取締役就任（新規食品添加物申請業務）、2002年 ILSI Japan 食品アレルギー研究部会長（アレルギー表示）、2010年-内閣府食品安全委員会・食品安全モニター。2009年より現職。世界の食品/添加物/アレルギーの法規制に関するコンサルティングや講演、飲料・素材メーカーとの共同研究、食品添加物及び飼料添加物に関する行政への要請業務、論文発表など、食品と医薬品領域の豊富な経験と人脈を土台に活動を行う。

- 日 時：2022年11月28日（月） 10：30～16：30 （講義：約5時間）
- 受講料：33,000円（税込/テキスト付）
- 備考：見逃・復習用として、配信動画の録画をご視聴いただけます。視聴方法はセミナー終了後にメールでご案内します。録画の視聴期間は、12月1日（木）24：00～2022年12月9日（金）24：00です。

0. はじめに

新型コロナウイルスの食品・飲料業界へのインパクト
（北東アジア、東南アジア、インド、NZ）

1. 食品添加物の法規制

a. 基本情報

- ①最新海外情報の収集方法
- ②コーデックス食品分類と認可食品添加物リスト

b. 最新情報

- ①コーデックス食品添加物部会（加工助剤）
- ②FSANZ---ココナッツミルクの食品分類を変更
- ③アセアンの動き
 - ・統合とその後（TPP-11, RCEP）
 - ・経済と厚生指標
 - ・食用色素の認可比較
- ④中国：食品安全法実施条例
- ⑤米国：病原菌低減処理とバクテリオファージ、大豆レグヘモグロビン
- ⑥EU：統合と英国離脱、新規食品・簡略化承認、ラカンカ抽出物

c. 食品・食品添加物の規格基準

- ①国際標準：コーデックス
- ②欧米：EU、米国
- ③北東アジア：日本、中国、韓国、台湾
- ④東南アジア：マレーシア（ハラールの現状等）、シンガポール、フィリピン、タイ、インドネシア（納豆テンペ等）、ベトナム（機能性表示食品、即席麺）
- ⑤インド
- ⑥ブラジル（メスコスール）

d. 具体的な事例紹介

- ①ケーススタディ：各国間の食品添加物比較
（コーデックス食品分類、農水省HP）
 - ・即席めん
 - ・炭酸飲料
 - ・調理冷凍食品
- ②食品輸出入における食品添加物のトラブル事例
 - ・マレイン酸含有澱粉
 - ・違法着色料含有黒胡椒豆腐
 - ・安息香酸エステル含有即席麺
 - ・Nestle インドのマギー即席麺
 - ・台湾冷凍麺の二酸化塩素

2. 食物アレルギーの法規制

a. 最新情報：

コーデックス（CCFL）アレルゲン表示作業の動向

b. 食物アレルギーのリスク評価

- ①日本（判断樹と検知法）
- ②米国（ネスレ・蛋白質分解物）
- ③EU（表示免除）

c. 食物アレルギー表示品目の比較

- ①コーデックス、EU、スイス、豪/NZ、米国、カナダ
- ②日本、韓国、中国、香港、台湾
- ③シンガポール

d. アレルゲン食品の回収（リコール）事例

- ①FDA（米国）
- ②FSA（英国）

【講演概要】

新型コロナウイルスは呼吸器から感染するので食品から感染する懸念はないが、食品製造・物流・販売に影響を与えている。本講座では、まずコーデックスの新規テーマ COVID19 と FDA のパンデミック中の査察評価活動を紹介する。続いて、【食品添加物の法規制】として、最新の海外情報の収集法、アセアン・欧米の動向を説明する。次に、北東アジア、東南アジア、更にはインド、ブラジルの食品法規制の枠組みをコーデックスの個別食品規格の様式に従って説明する。具体事例として、即席めん、炭酸飲料、調理冷凍食品を取り上げる。また、輸出入における食品添加物のトラブル事例も紹介する。【食物アレルギーの法規制】では、日本、米国、EU の食物アレルギーのリスク評価を説明し、食物アレルギー表示品目の国別比較から、法規制の相違について確認する。最後に、英国と米国のアレルゲン食品の回収（リコール）事例トレンドを紹介する。

＜お申込み要項＞



申込用紙 講習会申込:『2022/11/28 海外の食品添加物および食物アレルギーの法規制』

下記に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください（※は必須です）

FAX:03-6261-7924

会社名※			
所在地※ <small>(受講票等の送付先)</small>	〒		
参加者 1			
氏名※		TEL※	
		FAX	
所属※		役職	
Email※	<small>(リマインドメールなどお送りしますので、なるべくご記入ください)</small>		
会員登録	<input type="checkbox"/> 登録する <input type="checkbox"/> 登録しない <small>(登録料・会費は掛かりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します)</small>		
支払方法※	<input type="checkbox"/> 銀行振込（紙請求書） <input type="checkbox"/> 銀行振込（PDF 請求書） <input type="checkbox"/> カード支払い <input type="checkbox"/> 後日連絡		
参加者 2			
氏名※		TEL※	
		FAX	
所属※		役職	
Email※	<small>(リマインドメールなどお送りしますので、なるべくご記入ください)</small>		
会員登録	<input type="checkbox"/> 登録する <input type="checkbox"/> 登録しない <small>(登録料・会費は掛かりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します)</small>		
支払方法※	<input type="checkbox"/> 銀行振込（紙請求書） <input type="checkbox"/> 銀行振込（PDF 請求書） <input type="checkbox"/> カード支払い <input type="checkbox"/> 後日連絡		
備考※			

お申込について

① 以下のいずれかの方法でお申込みください

A	FAX 03-6261-7924	本用紙の申込欄に必要事項をご記入の上、送信ください
B	E-mail entry@tech-d.jp	上記の必要事項【社名】、【所属部署名】、【受講者氏名】、【所在地】、【電話番号】、【FAX 番号】、【E-mail アドレス】をメールに記載の上、送信してください

② お申込受付後、受付完了のご連絡（メールまたはお電話）を致します

③ 受講票・請求書をお送り致します

＜注意＞

- ① お申込後 1 週間たっても受付完了の連絡がなかった場合は、お手数ですが、弊社までご連絡ください
- ② 開催日の 7 日前以内のキャンセルは、お受け致しかねます。必要に応じ代理の方のご出席をお願い致します

お支払について

＜期日＞

① 受講料は、講習会開催日の**翌月末日**までにお支払いください

※ 経理の都合上、期日までに間に合わない場合は、対応致しますのでご一報ください

＜方法＞

① 銀行振込（振込手数料は御社にてご負担願います） ② クレジットカード払い

※ 講習会当日に現金でのお支払も承りますが、領収書等の準備がありますので、事前のご連絡をお願い致します

振込先銀行	支店	口座番号	名義
三井住友銀行	多摩センター支店(909)	(普) 0973522	株式会社テックデザイン

主催 申込・問合せ	名称	株式会社テックデザイン(http://www.tech-d.jp/)		
	住所	〒102-0074 東京都千代田区九段南 3-9-14 九段南センタービル 5 階		
	電話	03-6261-7920	FAX	03-6261-7924
	E-mail	entry@tech-d.jp (申込) / info@tech-d.jp (問合せ)		